



ヒアリング資料

社会資本整備審議会 道路分科会 第21回国土幹線道路部会

2016年3月8日 公益社団法人 関西経済連合会



- 日本の三大都市圏の中でも特に遅れている関西圏の環状道路整備は、高いポテンシャルを持つ関西圏が日本再生の一翼を担うとともに、増え続ける訪日外国人を含めた観光需要に対応するための必要最低限の条件。関西圏の高速道路ネットワークを「賢く」使うためにも、10年先を見据え、「関西圏」の環状道路を一日も早く整備することが重要
- ○「関西圏」の高速道路料金体系の検討にあたっては、 利用者の利便性や「関西圏」の環状道路の整備状況を 総合的に判断されることを期待



・「関西」が目指す姿と「関西」の特徴

1

・関西圏の環状道路ミッシングリンク解消の必要性

7

・関西圏の高速道路料金体系について

12

(参考資料)

- ≪「関西」が目指す姿≫
- 関西は、「スーパー・メガリージョン」の一翼を担い、「アジアのゲートウェイ」として日本の成長を牽引することを目指す
- ≪「関西」の特徴≫
- <u>関西は、東日本一西日本/太平洋側一日本海側が</u> 結節する地域。<u>産業、研究機能、観光資源等の様々な</u> 集積があり、国際拠点空港・港湾を有する

THE FLOWER OF JA

①東京一極集中是正、地方創生の実現に向けた取り組み

「関西」が目指す姿と「関西」の特徴(2/6)

○東京一極集中是正、地方創生実現に向け、次期国土形成計画(全国計画、広域地方計画)に盛り込むべき施策や関西の役割と具体策について、関西経済界として提言(2015.3)

提言「国土の新たな発展に向けて」

【提言のポイント】

<u>1.複眼型スーパー・メガリージョン形成を</u>

- 新たな成長エンジンとして、三大都市圏をリニアで結ぶ、 複眼型スーパー・メガリージョン形成が必要
- ・国家プロジェクトとしてリニア全線同時開業が不可欠。 国は早急に方策を講じるべき
- ・国土のリダンダンシー確保、関西との連携強化による 日本海側の経済振興のためにも、北陸新幹線の大阪まで のフル規格による早期開通が必要

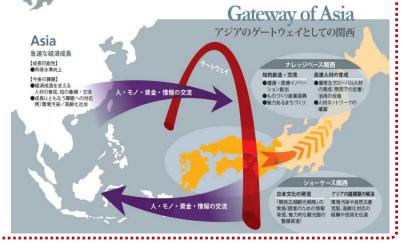
2. 関西はアジアのゲートウェイの役割を果たす

・関西の強みを活かし、西日本各地とも連携して知的 創造・交流、高度人材育成、日本文化発信、アジアの 諸課題解決に取り組む

<u>3.関西が一体となってプロジェクトを推進</u>

・健康・医療イノベーション創出、関西広域観光戦略、 地方大学の機能強化、基盤整備などに取り組む





「関西」が目指す姿と「関西」の特徴(3/6)



②東日本一西日本の結節

(出典:「阪神港 国際コンテナ戦略港湾の選定 に向けた計画書(概要版))

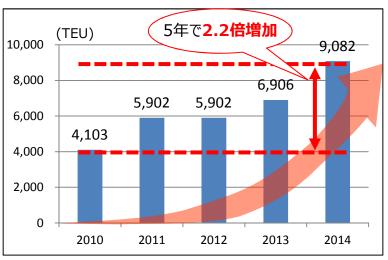
地勢的、経済的観点から 首都圏を中心とした東日本と関西圏を中心とした西日本 東西2箇所に戦略港湾が必要 西日本 東日本 人口:6000万人 人口 6700万人 GDP: 234兆円 GDP285兆円 西日本・・・富山県、岐阜県、愛知県以西 東日本・・・新潟県、長野県、静岡県以東 阪神港の集荷範囲 名古屋港の集荷範囲 京浜港の集荷範囲 各港で扱う貨物の生産地、消費地(県別)の範囲(外貿コンテナ貨物量8000トン以上) ※京浜港における兵庫・大阪、阪神港における東京・埼玉はのぞく ※平成20年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査報告書(平成21年3月)より集計

③太平洋側ー日本海側の結節



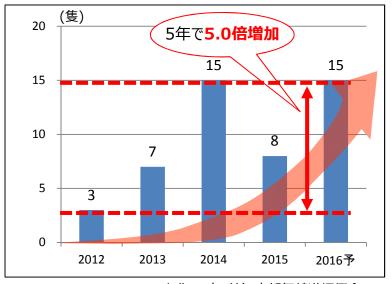
(出典: 国土交通省近畿地方整備局 HP)

《コンテナ貨物数の推移(京都舞鶴港)》



出典: (一社) 京都舞鶴港振興会HP

《クルーズ船寄港数の推移(京都舞鶴港)》



出典: (一社) 京都舞鶴港振興会HP



④物流・人流の一大拠点



「関西」が目指す姿と「関西」の特徴(6/6)



6

5 関西広域観光戦略の公表(2015.2)

- 関西の観光振興は、各自治体・団体がそれぞれのエリアを中心に取り組みが進められているが、今後は、各組織の活動情報や課題を 共有する場をつくり、広域エリアである関西としての目標を共有し、一体的な活動を展開していく必要
- 〇 関経連では、2013年11月に「広域観光研究会」を設置し、関西広域の視点に立ち、官民一体となって取り組む「関西広域観光戦略」を 2015年2月に公表

研究会体制 〇座 長:福島伸一·新関西国際空港会長

〇メンバー: 関経連会員企業(都市創造・文化観光委員会正副委員長会社等)、関西広域連合、関西地域振興財団

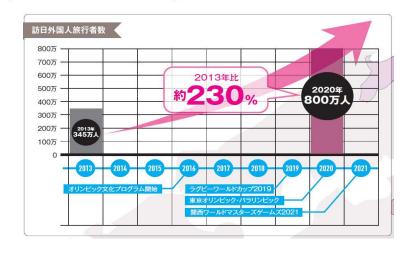
○オブザーバー: 近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、京都市、堺市、神戸市、京商、大商、神商、

京都市観光協会、大阪観光局、歴史街道推進協議会

関西広域観光戦略

1. 関西がめざすべき目標の設定(2020年)

	2013年	2020年	
訪日外国人旅行者数	345元	800元人 次次次次次次次次	
外国人延べ宿泊者数	817万人泊	2,000万人泊 用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用	
訪日外国人旅行消費額	4,675億円 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	1 _{**}	



【参考】関西広域連合「関西観光·文化振興計画」

関西を魅力ある文化観光圏とすること、文化発信力を高めていくことを目的とした計画

関経連「関西広域観光戦略」と同じ数値目標を設定

訪日外国人旅行者数 : 800万人

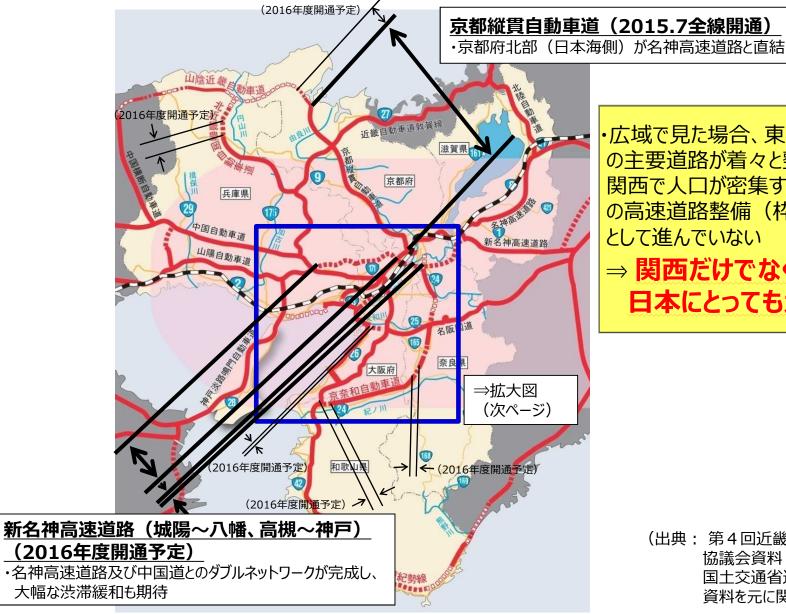
外国人延べ宿泊者数 : 2,000万人泊

訪日外国人旅行消費額 : 1兆円

- 関西には、大阪湾岸道路西伸部、淀川左岸線延伸部など、事業着手すらされていない環状道路ミッシングリンクが未だ複数存在。このため、大阪都心部、大阪・神戸間等で慢性的に渋滞が発生しており、物流、観光交流等が大きく阻害
- ○関西が「スーパー・メガリージョン」の一翼を担い、「アジアのゲートウェイ」として日本の成長を牽引していくためには、環状道路ミッシングリンクを速やかに解消し、これらの渋滞を速やかに緩和する必要

関西圏の環状道路ミッシングリンク解消の必要性(2/5)

①関西の高速道路の整備状況(1/2)

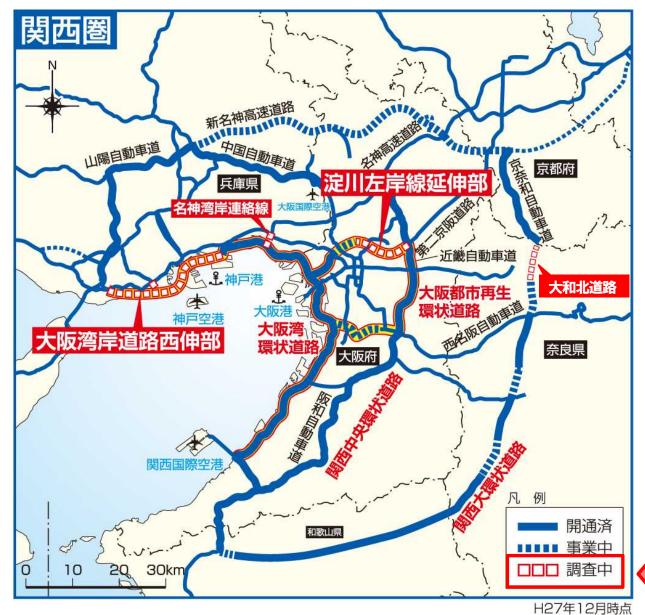


- ・広域で見た場合、東西、南北 の主要道路が着々と整備される一方、 関西で人口が密集する大阪湾近郊 の高速道路整備(枠内)は、遅々 として進んでいない
- ⇒ 関西だけでなく、 日本にとっても大きな損失

(出典: 第4回近畿圏広域地方計画 協議会資料(2015.9)及び

> 国土交通省近畿地方整備局 資料を元に関西経済連合会作成

②関西の高速道路の整備状況(2/2)





関西圏の環状道路ミッシングリンク解消の必要性(4/5)



③三大都市圏における環状道路の整備状況

ミッシングリンクが複数 あり、環状道路 ネットワーク整備の 目処が立っていない!



平成32(2020)年開催の 東京オリンピック・パラリンピック までにさらに整備が進む

中部圏 岐阜県 名神高速道路 三重県 伊勢湾岸自動車道 ■■■■ 事業中 □□□ 調査中 20 30km 中部国際空

環状道路ネットワークは すべて事業着手されている



関西圏の環状道路ミッシングリンク解消の必要性(5/5) 🐉 เหตุกรตั 🔟



4関西圏と首都圏との比較

	関 西 圏	首 都 圏	備考
1. 環状道路の整備状況	①複数のミッシングリンクが存在 ·大阪湾岸道路西伸部(大阪湾環状道路を構成)、淀川左岸線延伸部(大阪都市再生環状道路を構成)、京奈和自動車道(大和北道路)(関西大環状道路を構成)	①一部にミッシングリンクが存在 ・東京外かく環状道路 (東名高速~湾岸道路間)	・中部圏=ミッシング リンクは存在せず (全て事業化済)
	②個別路線の状況 ・都市計画決定状況 ⇒大阪湾岸道路西伸部(2009決定済) 淀川左岸線延伸部(2016決定予定) 京奈和自動車道(大和北道路)(2008決定済)	②個別路線の状況 ・事業中区間 ⇒2020開催の東京オリンピック・パラリン ピックまでにさらに整備が進展	
	・道路構造 ⇒大阪湾岸道路西伸部 (全線高架(一部で神戸港を横断)) 淀川左岸線延伸部 (主に大深度地下トンネル) 京奈和自動車道(大和北道路) (地下十高架)	・ミッシングリンク区間(上記①) ⇒「東京外かく環状道路(東名高速~湾岸 道路間)計画検討協議会」設立(2016.2)	
2. 料金体系 の変更時期	2017. 4(予定)	2016. 4	・関西圏 =首都圏の一年遅れ
3. 本線 料金所数	47ヶ <u>所</u> ・料金体系=18種類	<u>29ヶ所</u> ・料金体系=14種類(~2016.3(上記2.)まで)	・大阪府様調べ ・関西圏 =首都圏の <u>1.6倍</u>

○ <u>利用者が分かりやすい、使い勝手の良い</u>料金体系を (=高速道路の料金体系や料金圏をシンプルに)

○ 料金体系の検討にあたっては、<u>日本の三大都市圏の</u>中でも特に整備の遅れている「関西圏」の環状道路の整備状況を十分考慮した制度設計を

○ 本部会には、上記を踏まえた総合的な判断を期待





ヒアリング参考資料

社会資本整備審議会 道路分科会 第21回国土幹線道路部会

2016年3月8日 公益社団法人 関西経済連合会



1

- ・(参考①)関西の主な拠点と交通・物流ネットワーク
- ・(参考②)関西広域観光戦略に基づくインバウンド推進 2
- •(参考③)ストック効果資料
- ・(参考4)官民一体となった活動



(出典:第4回近畿圏広域地方計画 協議会資料(2015.9)を元に 関西経済連合会作成

(参考②)関西広域観光戦略に基づくインバウンド推進(1/2) 🍪 KANSAI



1関西の広域観光周遊ルート

- 関西広域連合・関西地域振興財団とともに、国交省観光庁「広域観光周遊ルート形成促進事業」に申請を行い、採択(2015.6)
- 今後、事業計画に基づく取り組みを進展

名称・コンセプト

- ・主題:『美の伝説』(英訳:THE FLOWER OF JAPAN. KANSAI)
- ・副題:『日本の美に出会う 5つの世界遺産と7つの絶景 』
- ・コンセプト

古くから日本の都として、常に歴史の中心に位置し、日本の歴史を創り上げてきた関 西。1400年の悠久の時を超え、いにしえの歴史と文化・自然が織り成す魅力、非日常と の出会い。5つの世界遺産をはじめとする歴史遺産や、信仰、神話、伝説の生まれた聖 地を巡り、日本の伝統美や自然美、精神文化、生活文化の美意識にふれる旅。まさに日 本の真髄にふれる、それが「美の伝説(英訳:THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI)」である。

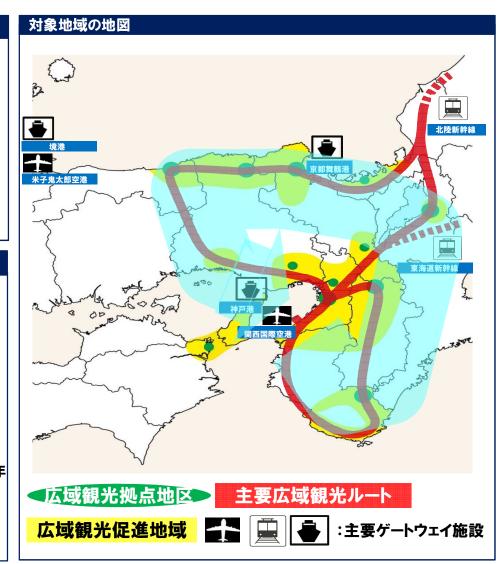
・主な対象市場・ターゲット:東アジア、東南アジア市場及び欧米系のリピーター

事業の概要

- ・広域で取り組む主な事業
- (1)事業計画策定・マーケティング
- ●関西での訪日外国人旅行者の動向調査の実施
- (2)受入環境整備・交通アクセスの円滑化
 - ●関西域における交通事業者連携による統一交通パス

「KANSAI One Pass(仮称)」の導入の検討

- (3)滞在コンテンツの充実
- ●免税店拡大促進事業
- (4)対象市場に向けた情報発信・プロモーション
- ●2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年 関西ワールドマスターズゲームズ2021開催と連携した効果的な観光プロ モーションの実施
- (5)その他、本事業の目的を達成するために必要な事業
- ●関西で登録の通訳案内士のスキルアップ研修



(参考②)関西広域観光戦略に基づくインバウンド推進(2/2)

②訪日外国人旅行者向け関西統一交通パス「KANSAI ONE PASS」の創設

- 関西圏を一枚の交通パスで周遊できる「KANSAI ONE PASS」の創設に向け、関西の9つの主要鉄道会社や新関西国際空港などで構成する「関西ワンパスワーキング・グループ」を設置し検討
- ○「KANSAI ONE PASS」を2016年4月より実証実験として発売。発売前の2月、3月には海外のウェブサイトや旅行博などでパスの PRを実施
- ○本事業が国交省「広域観光周遊ルート形成促進事業」として認められ、助成金によるバックアップが決定。本助成金を活用して、カード及び販促ツール、利用者向けモバイルサイト、プロモーション等の諸準備作業を実施中

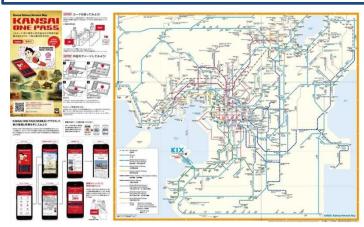
「KANSAI ONE PASS」の概要

- ○JR西日本の「ICOCA」をベースとしたチャージ式の交通ICカードで制作
- 2016年4月~2017年3月末を施策期間とした「実証実験」としてスタート
- ○ICOCAエリアでの使用が可能
- 発売額…3,000円(デポジット500円+利用額2,500円)
- 発売箇所…関西国際空港、関西の主要駅 (発売は訪日外国人のお客様限定)
- 発売枚数…初回30,000部
- ○観光施設やショッピング、関空内店舗での優待特典を付加
- パスの利用方法や優待特典施設、観光情報を案内するモバイルサイトを構築し、利用者の利便を確保



TKANSAI ONE PASS

関西にゆかりのある手塚治虫氏のイラストを起用。「はなやか関西」シンボルマークをあしらい、KANSAIブランドの浸透を促進



「配布用の路線MAP」



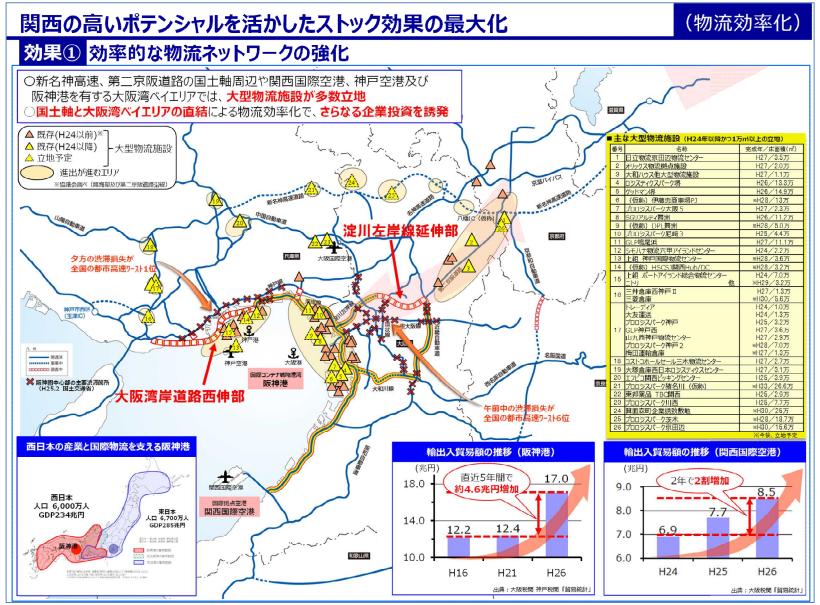
路線MAPのQRコードから 4言語による 観光情報サイトへ



「KANSAI ONE PASS」専用モバイルサイト



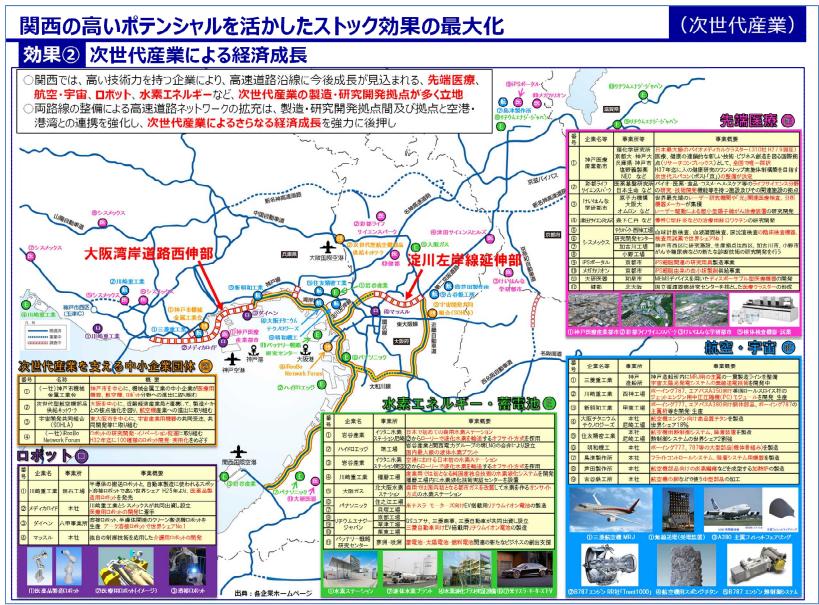
①様々な産業集積(1/2)



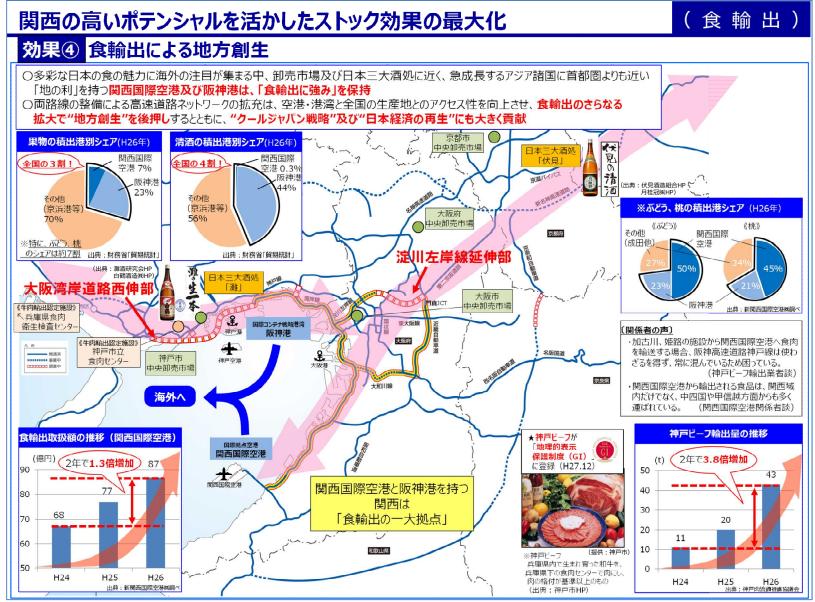
(参考)関西圏の慢性的な渋滞状況



②様々な産業集積(2/2)

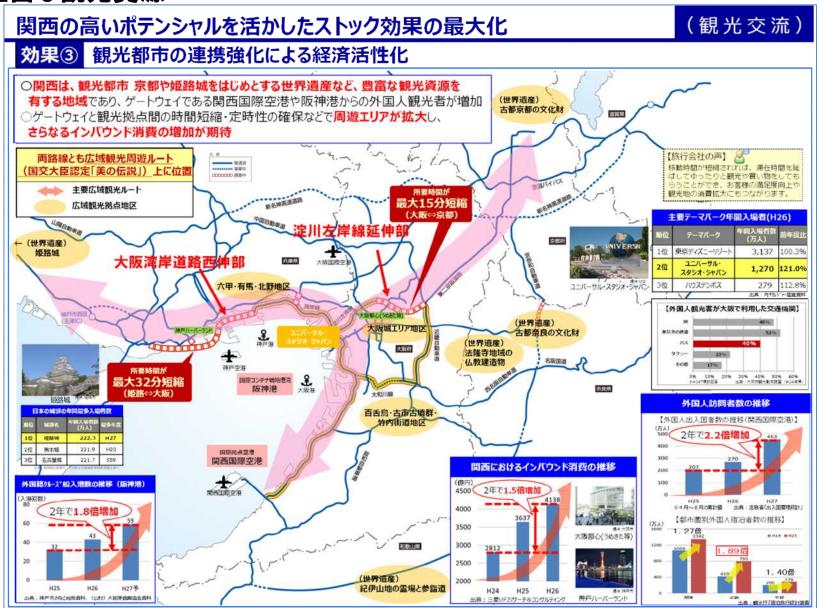


③食輸出の一大拠点





4豊富な観光資源



(参考4)官民一体となった活動



①「関西高速道路ネットワーク推進協議会」の設立(2015.6)

〇関西の経済界と地元自治体(計8団体)が一体となり、関西の環状道路ミッシングリンク解消を推進するための協議会(「関西高速道路ネットワーク推進協議会」)を設立(2015.6)。経済界と自治体のトップが合同で、 大阪湾岸道路西伸部、淀川左岸線延伸部の早期整備を政府及び与党に要望(①2015.6.30、②2016.1.19)

関西高速道路ネットワーク推進協議会の設立並びに 推進決起大会の開催(2015.6.30)

協議会構成(計8団体)

関西経済連合会会長(代表)、

兵庫県知事(副代表)、大阪府知事(副代表)、

大阪商工会議所会頭、神戸商工会議所会頭、

関西経済同友会代表幹事、大阪市長、神戸市長

協議会実施事業:

- ①関係官庁等に対する要望活動
- ②ミッシングリンクの早期整備に関する広報・啓発活動 など

推進決起大会参加者:

約220名



政府・与党への要望活動

(1)2015.6.30, (2)2016.1.19)

要望先

- ①菅 内閣官房長官、太田国土交通大臣(当時)など
- ②: 土井国土交通副大臣、田中財務事務次官など

要望項目(抄)

- ①広域的なネットワークを形成する重要路線であること から、国が主体となって整備を行うこと。
 - 大阪湾岸道路西伸部(9期): 平成28年度新規事業着手
- ②事業化にあたっては、国直轄事業の導入など地方負担を 軽減する事業スキームを構築すること。



